令和５年度朝霞市立朝霞第七小学校　第５回学校運営協議会

令和６年３月１２日
１３：３０～第２図工室

１　学校長あいさつ

２　学校評価について

３　令和６年度学校運営協議会委員について

４　その他
①令和５年度卒業式出席確認
②令和６年度入学式について
③令和５年度学校運営協議会出席数確認について
④令和６年度の運営協議会開催日程（変更がある場合、早めにご連絡いたします。）

第１回	第２回	第３回	第４回	第５回
４月１８日（木） １３：３０ 第２図工室	６月８日（土） ９：３０から　授業参観後、第２図工室	１２月１２日（木） １３：３０ 第２図工室	２月２７日（木） １３：３０ 第２図工室	３月１１日（火） １３：３０ 第２図工室

問合せ先（事務局）
朝霞市北原２－６－１
朝霞第七小学校教頭　越後　広栄
電話番号　０４８－４７２－９１７２
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　a7shou_k2@asaka-c.ed.jp

令和5年度　朝霞市学校評価　　令和　6年　3月　1日

学校評価（共通項目）評価書

朝霞市立朝霞第七小学校

柱	No	評　価　項　目	自己評価	自己評価の説明及び学校の考え	関係者評価	学校関係者評価者の説明
学校の組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。	A	・学校教育目標の実現に向けて、分掌主任、学年主任を中心に組織的・意図的な教育活動を実施していく。 ・持続可能な学校を目指し、教職員の働き方改革につながる業務改善については今後もボトムアップ型の「カエル会議」を中心に取り組んでいく。	A	・職員の団結力をすごく感じる。 ・ホームページ等で学校の取組がわかりやすく伝わっている。 ・全教職員が学校教育目標達成に向け取り組んでいる。
	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。 （※いじめの未然防止と早期発見、再発防止等の組織的な対応を含む）	A	・施設設備は日常的な点検と定期点検を徹底して、事故を未然に防止する。 ・生徒指導の諸問題は月１回の生徒指導部会で状況や経過等を確認し、共通理解・共通行動で適切に対応する。 ・いじめ問題については毎学期の生活アンケート調査や毎月の困り事アンケートをとおして個別面談、教育相談を行い、問題の未然防止と迅速に対応していく。	A	・訓練や防犯カメラの設置等から危機管理体制を整えていると言える。 ・ショート訓練を数多く実施している点が評価できる。
基礎学力の定着	3	児童生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	B	・会計年度任用職員や通常学級支援員等の活用も含め、個に応じた指導を充実させる。 ・教科担任制を拡大し、専門的な指導、学年統一した指導を徹底することで学力向上を目指す。 ・授業におけるタブレット端末の活用の充実だけでなく、放課後や長期休業等でも児童がタブレット使用のルールを守って効果的に活用できるよう指導していく。	A	・全国学力・学習状況調査等よりしっかりと身に付いているとわかる。 ・働き方改革につながると思うが、教材研究を学年で行い、学年で同じ指導をし、学力の定着・向上を図ってほしい。 ・タブレットの活用については改善の余地がある。 ・長期休業中にタブレットを活用できる仕組がもっとほしい。
	4	学校は、学力向上をめざし、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	B	・ICT機器を効果的に活用して児童の表現力を高めるための指導方法について、より研究を深め、着実に児童に力をつけていく。 ・タブレットを用いた埼玉県のコパトンシートの活用を学校だけでなく家庭とも連携して取り組むことで児童の学力定着を図る。	A	・学習状況調査の結果と成果・課題から実績も残していると感じる。 ・校内研修の実施が複数回あること、学習状況調査の分析等から改善に努めていることがわかる。 ・国語、算数については校内で同じ指導をしてもらいたい。例えば、算数の筆算で繰り上がりの数字を書く位置、学年により違うのはいかがなものか。
規律ある態度の育成	5	児童生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた「規律ある態度」を身に付けている。	B	・学習規律の確立を目指し、低学年補助教員や児童生徒支援員、スクールサポーターの支援を受けながら特に低学年段階で着実に身に付けさせていく。 「七小iPadの約束」をも活用するとともに、外部講師を招いての「スマホ・携帯教室」を実施し、情報モラル教育を充実させる。	A	・「七小よい子のやくそく」の徹底がすばらしい。 ・児童の明るいあいさつが毎回あることからルールを身に付けていることがわかる。 ・学校ではできているかもしれないが、家庭でできているのかはわからない。
	6	学校は、児童生徒の実態把握に基づき、規律ある態度の指導の工夫・改善に努めている。	B	・毎月の全校朝会で、生徒指導部教員が生活目標を確認して指導を行う。 ・児童会を中心としたあいさつ運動について、児童の意見を反映させた形で取り組むことで、自主的な活動を促す。 ・月末に全児童が生活目標の振り返りを行うことで、改善点を見出し、指導につなげていく。	A	・iPadの約束の実施等により、指導の工夫・改善に努めていると言える。 ・情報モラル教室で外部指導者を招いている点は専門的な指導を受けられるため評価できる。
健康・体力向上	7	児童生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	B	・体育的行事や体育朝会、朝運動を工夫して、運動好きの児童を増やす。 ・業間休みや昼休みでの外遊びを積極的に奨励する。	A	・我が子たちがお世話になっていた頃から七小の校庭はいつも子供たちの元気な姿がいっぱいでいつもあたたかい気持ちになる。 ・健康・体力向上のため、しっかりと外遊びの奨励、クラスレク等集団遊びができている。 ・コロナやインフルエンザの影響か児童の活動が以前に比べ少し減っている。
	8	学校は、児童生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	B	・体育部が中心となって体育授業での運動量確保や新体力テストにおける課題のある項目を伸ばすための動きや運動を計画的に取り入れる。 ・タブレット端末の活用や体育カードを工夫することで、児童が意欲的に運動に取り組めるような教材研究を行う。 ・体育主任や体力向上推進委員を中心に授業を見合う会を設定し、体育授業の充実につなげていく。	A	・ニコニコタイムの取組から対策を講じていると言える。 ・体力カードを使った家庭での取組を行っている点がよい。
連携	9	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学力や体力の向上に生かしている。	B	・朝霞市社会福祉協議会や朝霞市博物館による出前授業、朝霞市浄水場や消防署をはじめとした市内関係機関とも連携して体験的な学習の充実を図る。 ・年１回の学校保健委員会で健康面、運動面の課題を保護者、地域とも共有し、学校医からの助言もいただきながら課題解決に向けて連携して取り組んでいく。	A	・学校応援団や保護者・地域との連携は充実していると感じる。 ・見守り隊、PTA、おやじの会等保護者や地域と連携している様子がわかる。 ・校外から見ていると連携具合が把握しづらいが、活動はされていると見受けられるため本評価とした。 ・コロナ禍以降、外部指導者の招聘が難しくなった。
	10	保護者や地域は、学校と協力し合い、児童生徒の安全指導・健全育成を推進している。	B	・地区委員会との連携で、校区内の安全指導や通学路点検を継続する。 ・学期初日には、教職員も通学路に立って安全指導を実施する。 ・学校応援団、おやじの会、PTAと連携して樹木剪定等環境整備に注力する。	A	・生徒の安全指導を推進している姿が登下校の見守りや一斉下校、引渡訓練の実施等よりわかる。 ・校外から見ていると連携具合が把握しづらいが、活動はされていると見受けられるため本評価とした。 ・保護者の見守りやPTAのサークルの加入者が減ってきているような気がする。

注：「自己評価」及び「関係者評価」の欄はA～Dで記入
　Aは4点、Bは3点、Cは2点、Dは1点で換算した平均値から、A：3.4以上、 B：2.6以上、 C：2.0以上、 D：2.0未満

令和５年度　朝霞市学校評価

学校関係者評価（学校評価）集計

朝霞第七小学校運営協議会委員用

柱	No	評 価 項 目	関係者評価（学校運営協議会委員評価）	
			評価	評価についての説明
学校の組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。 【取組事例】　学校・学年便り等（月１回以上）、ホームページでの学校行事紹介（逐次）、メールでの通知・連絡（逐次）　等	4.0 A	・職員の団結力をすごく感じる。 ・ホームページ等で学校の取組がわかりやすく伝わっている。 ・全教職員が学校教育目標達成に向け取り組んでいる。
	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。 【取組事例】　避難訓練・ショート訓練（各学期１回ずつ）、不審者対応訓練（年１回）、校内巡視や防犯カメラ設置　等	3.75 A	・訓練や防犯カメラの設置等から危機管理体制を整えていると言える。 ・ショート訓練を数多く実施している点が評価できる。
基礎学力の定着	3	児童生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。 【取組事例】　音読・体力向上カードの実施、音読スキルの活用、読書や自主学習の励行・タブレット端末の活用等	3.75 A	・全国学力・学習状況調査等よりしっかりと身に付いているとわかる。 ・働き方改革につながると思うが、教材研究を学年で行い、学年で同じ指導をし、学力の定着・向上を図ってほしい。 ・タブレットの活用については改善の余地がある。 ・長期休業中にタブレットを活用できる仕組がもっとほしい。
	4	学校は、学力向上をめざし、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。 【取組事例】　校内研修の実施（年 12 回）、全国・埼玉県学力学習状況調査の分析や改善策の実施、ｅラーニングの活用　等	3.625 A	・学習状況調査の結果と成果・課題から実績も残していると感じる。 ・校内研修の実施が複数回あること、学習状況調査の分析等から改善に努めていることがわかる。 ・国語、算数については校内で同じ指導をしてもらいたい。例えば、算数の筆算で繰り上がりの数字を書く位置、学年により違うのはいかがなものか。
規律ある態度の育成	5	児童生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた「規律ある態度」を身に付けている。 【取組事例】　児童会による「あいさつ運動」、月ごとの生活目標の取組・振り返り、交通安全教室・自転車安全教室　等	3.625 A	・「七小よい子のやくそく」の徹底がすばらしい。 ・児童の明るいあいさつが毎回あることからルールを身に付けていることがわかる。 ・学校ではできているかもしれないが、家庭でできているのかはわからない。
	6	学校は、児童生徒の実態把握に基づき、規律ある態度の指導の工夫・改善に努めている。 【取組事例】　月ごとの生活目標に関する指導、「七小 iPad の約束」の実施、情報モラル教室の実施（年１回）　等	3.625 A	・iPad の約束の実施等により、指導の工夫・改善に努めていると言える。 ・情報モラル教室で外部指導者を招いている点は専門的な指導を受けられるため評価できる。

健康・体力向上	7	児童生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。 【取組事例】外遊びの奨励、クラスレクを通じた集団遊び・体育カードの活用（鉄棒・短縄）　等	3.625 A	・我が子たちがお世話になっていた頃から七小の校庭はいつも子供たちの元気な姿がいっぱいでいつもあたたかい気持ちになる。 ・健康・体力向上のため、しっかりと外遊びの奨励、クラスレク等集団遊びができている。 ・コロナやインフルエンザの影響か児童の活動が以前に比べ少し減っている。
	8	学校は、児童生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。 【取組事例】　ニコニコタイム（持久走・短縄）の実施、鉄棒指導の研修（教職員）、運動量を確保した体育授業の実施　等	3.625 A	・ニコニコタイムの取組から対策を講じていると言える。 ・体力カードを使った家庭での取組を行っている点がよい。
連携	9	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学力や体力の向上に生かしている。 【取組事例】　生活科見学の見守り隊、ＰＴＡ・おやじの会と連携した植栽の剪定、外部講師を招聘した学習（福祉・租税・博物館・サッカー）　等	3.625 A	・学校応援団や保護者・地域との連携は充実していると感じる。 ・見守り隊、PTA、おやじの会等保護者や地域と連携している様子がわかる。 ・校外から見ていると連携具合が把握しづらいが、活動はされていると見受けられるため本評価とした。 ・コロナ禍以降、外部指導者の招聘が難しくなった。
	10	保護者や地域は、学校と協力し合い、児童生徒の安全指導・健全育成を推進している。 【取組事例】　読み聞かせの実施､登下校の見守り、一斉下校や引渡訓練の実施、薬物乱用教室の実施等	3.625 A	・生徒の安全指導を推進している姿が登下校の見守りや一斉下校、引渡訓練の実施等よりわかる。 ・校外から見ていると連携具合が把握しづらいが、活動はされていると見受けられるため本評価とした。 ・保護者の見守りやPTAのサークルの加入者が減ってきているような気がする。

学校運営協議会委員８名対象

注：「自己評価」及び「関係者評価」の欄はＡ～Ｄで記入

Ａは４点、Ｂは３点、Ｃは２点、Ｄは１点で換算した平均値から、Ａ：3.4 以上、　Ｂ：2.6 以上、　Ｃ：2.0 以上、　Ｄ：2.0 未満